

科目番号	37031	分類	助産学発展領域	履修者	助産学専攻科	学年	1
科目名	助産学研究 Research in Midwifery						1
							配当セメスター 前期・後期
担当者	米山万里枝 / 和田佳子 / 島田祥子 / 古川奈緒子 / 前田のぞみ / 他	区分	必修	単位	1	時間数	30
講義の目標および概要							
<p>助産ケアの質の向上と助産活動推進できるよう研究の意義を理解し、積極的に実施する態度を養う。研究の基礎的要素を学び、助産研究に関する文献抄読を通して研究の動向を把握する。論文は既習の知識・技術、理論、実習体験を基盤とし、継続事例を活用しテーマを設定して研究として展開してまとめる。</p>							
授 業 計 画							
1～2回	助産学研究について 文献検討とは、文献検討の意義と方法						
3回	文献検索演習（和文・英文）						
4回	助産学研究の具体的方法、研究計画書の書き方、倫理審査について						
5回	質的研究の実際（藤井）実証主義パラダイムと自然主義パラダイム 代表的な自然主義的研究（Grounded Theory Approach・現象学的アプローチ エスノグラフィー 等						
6回	事例研究とは、事例研究の書き方（今後の計画や課題提示）						
7回	量的研究とは						
8・9回	医療系論文を読むための統計学の基礎知識（比江島）						
10～11回	クリティーク，サブストラクションについて						
12～13回	中間プレゼンテーション(演習：各指導教員と準備を進める)（全教員）						
14～15回	最終プレゼンテーション（成果発表・まとめ）（全教員）						
成績評価の方法	講義・演習参加状況（20%）、プレゼンテーション内容・発表（20%）、論文提出内容（60%）を総合的に判断する。						
テキスト	黒田裕子著：黒田裕子の看護研究 step by step 第4版 医学書院 (ISBN:978-4-260-01596-7)						
参考図書	南裕子：看護における研究 日本看護協会出版会 (ISBN: 978-4-8180-1364-3)						
備考	年間を通じて取り組む教科で、個人での取り組みとグループでの取り組みがあります。専攻科生同士で協力して取り組むことで、より助産学を深めることができます。臨床での学びを客観的に振り返り、助産ケアについて追究していく視点を養いましょう。						